

【葉山町】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合

町内の全校を対象に令和6年12月から令和7年1月にかけて、ネットワークアセスメントを実施した。町内小中学校からローカルブレイクアウトしているネットワークの速度の確保について、「学校のネットワーク改善ガイドブック」（文部科学省・令和6年4月）に示される当面の推奨帯域に対し、理論値では上回っているものの、実際の測定結果は次のとおりであった。

対象学校	推奨帯域 (下り)	アセスメント結果		推奨帯域と アセスメント結果比較
		(昼・下り)	(夕・下り)	
葉山町立葉山小学校	566Mbps	175Mbps	407Mbps	昼・夕不足
葉山町立上山口小学校	270Mbps	480Mbps	529Mbps	問題なし
葉山町立長柄小学校	525Mbps	541Mbps※	526Mbps※	問題なし
葉山町立一色小学校	511Mbps	342Mbps	324Mbps	昼・夕不足
葉山町立葉山中学校	511Mbps	500Mbps	516Mbps	昼のみ不足
葉山町立南郷中学校	408Mbps	434Mbps	385Mbps	夕のみ不足

(1) 必要なネットワーク速度が確保できている学校数 2校

(2) 総学校数に占める割合 33.3%

※長柄小学校は推奨帯域に近い値であり、今後のGIGA端末運用において課題を残した。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和6年6月～7月に、各校の管理職・ICT担当者・小中学校各学年代表者1名を対象に、ネットワークのユーザー体感調査を実施した。調査の結果、「インターネット通信が遅いと感じることがある」と回答した教員は66.7%と半数を超えていることがわかった。具体的にネットワークが遅くなる利用場面として、「ロイロノートの共有ノートを使用した時」や「同時接続を行った時」という意見が多く、学習活動において、ネットワークによる弊害があることがわかった。また、「児童生徒から通信が遅いと言われることはありますか」という問いに対しても、半数を超える63.6%の教員が「ある」と回答しており、具体的な場面として同じように「同時接続をする時」を挙げている。

ネットワークアセスメントの結果をもとに、令和7年2月までに課題の特定を行う。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ユーザー体感調査より、「同時接続」においてネットワークが遅くなるという声が多数挙がっていることから、全校を対象としたアセスメントの結果を踏まえ、令和8年2月までに帯域が完全に確保されている上山口小学校を除く小中5校についてネットワーク回路の増強(10Gbps)を行う。